

< 藤岡地域 >

■ さむらいに化けた 狐

むかし、むかしのずっとむかし、この藤岡^{おか}付近じゃ田んぼにスゲを植えて、刈り取ってはム口^{のら}の中で野良仕事にかぶるスゲガサを作っていたんだと。

ある日、一人の百^{ひゃくしょう}姓がスゲガサ持って町の市に売りにいったところ、思いのほかいい値で売れたんで、この日は、奮^{ふんぱつ}発して晩のおかずの魚と酒を買って帰り道になったんだとよ。

とつぜん^{とつぜん}、突然、「おい、百^{ひゃくしょう}姓、持っている酒とつつみ、みんなおれによこせ」っていうんで、百^{ひゃくしょう}姓は持っていた酒どっくりをさむらいの頭めがけてぶっつけたところ、さむらいはばったりとたおれちまったんだとよ。

翌朝^{ひゃくしょう}、百^{ひゃくしょう}姓とおっかあで、ゆうべのところへ行ってみると、狐^{きつね}が芋^{いも}の葉をかぶって死んでいたんだとよ。